

## 第15回 北陸銀行若手研究者助成金 研究実績報告書

氏名	所属・職名	助成金額
テーレン・ティモ	人間社会研究域国際学系・准教授	500,000 円
研究課題名	文化遺産・観光資源としての海女漁に関する地域比較研究	
研究の概要	<p>[研究開始当初の背景, 研究の目的, 研究の方法等について記入]</p> <p>気候変動、市場のグローバル化、人口の高齢化、過疎地域化の進行などにより、我が国の漁業や農業の持続可能な伝統は現在、消滅の危機に瀕している。その事例の一つが海女漁である。海女の人数は全国的に急速に減少しており、その数は現在、1970年代後半に比べ80%減の2000人弱、平均年齢は65歳となっている。海女漁とその文化遺産の保存のため、各地域の行政は様々な取り組みを行っている。例えば2011年には、石川県輪島市の海女と海とのかかわり（里海）が国連食糧農業機関（FAO）の世界農業遺産（GIAHS）に認定されるなど、海女漁と関連して実施される観光業の取り組みは数多い。</p> <p>本研究プロジェクトでは、人類学的なアプローチを利用し、海女漁の観光地として有名な石川県輪島市において行政や海女漁のコミュニティ代表者にインタビュー形式の聞き取り調査を行い、過去と現在の政策・取り組みの効果を明らかにする。</p>	
研究の成果	<p>[成果の具体的内容, 意義, 重要性及び今後の展望等について記入]</p> <p>本研究によって、2010年代半ばの海女漁文化を守る取り組みとして、経済的に最も重要な漁獲物であるアワビの価格の引き上げに成功したことが明らかになった。その際、地元で獲れる海産物のブランド化とともに、あわび祭りが重要な役割を果たした。</p> <p>しかし気候変動の影響で、この5年間でアワビの漁獲量は激減した。また、あわび祭りは新型コロナウイルスや深刻なアワビ不足のため、何度も中止された。地元の漁協支部は海女漁の将来に対しかなり悲観的であるが、海女自身はさほど心配しておらず、アワビの不足は海藻を代替してより多く獲ることで補おうとしている。また、過去の海女文化遺産指定を契機に発足した、いわゆる海女漁振興会は、海女漁文化やその保存の必要性を積極的に発信するようになりつつある。</p> <p>2024年1月1日の能登半島地震は、輪島の海女に400年の歴史の中でおそらく最大の試練をもたらした。港が破壊されたことで海女漁の生業はもちろん、漁師の夫たちの職業も少なくとも1年間は不可能になるであろう。しかし海女コミュニティはメディアを通じてこの困難な状況を訴え、支援を受けるために最善を尽くしている。この事実から、伝統的で持続可能な漁法が今後も継続される希望的な兆候が伺える。</p> <p>本研究の意義は、気候変動や震災の深刻な影響など、近年の動向と古い調査や知見を比較したことにある。そうすることで本研究は、地方における伝統的な漁業が現在、厳しい未来に直面していることを指摘した。厳しい環境要因や水産業が衰退していくなか、観光業はごく限られた人々しか支えられないからである。</p> <p>今後の研究としては、1年間の研究補助金期間では実現が困難であった全国の海女漁集落との比較調査も視野に入れていきたい。</p>	

<p>研究成果発表状況</p>	<p>〔雑誌論文，学会発表，図書，新聞掲載，研究に関連して作成したWeb ページ等について記入〕</p> <p>2024 年 3 月 14 日、ウィーン大学において「Living with ever-changing currents: Following an ama diving community over one decade」(刻々と変化する海流とともに生きる：海女漁の文化とコミュニティの 10 年を追う)と題した学会発表を 1 時間にわたって行った。本講演のビデオはウィーン大学のウェブサイトにはアップロードされているので、今後長期的なインパクトを与えることが期待される。</p> <p>2024 年 2 月には本研究結果のまとめとして、査読付きの国際的な学術誌『Tourism Management Perspectives』に Sangkyun Kim (Edith Cowan University、オーストリア) と共同論文を投稿した。同論文を掲載した号は 2024 年度中に刊行される予定である。</p>																	
<p>経費の執行状況</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 577 699 674">費 目</th> <th data-bbox="699 577 1158 674">事 項 (主な使用事項を記載)</th> <th data-bbox="1158 577 1495 674">執行額 (円) (費目毎総額を記入)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 674 699 745">物品費</td> <td data-bbox="699 674 1158 745">図書、トナーカートリッジなど</td> <td data-bbox="1158 674 1495 745">14,962</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 745 699 842">旅費</td> <td data-bbox="699 745 1158 842">輪島で聞き取り調査、東京で研究打ち合わせ、ウィーンで学会発表</td> <td data-bbox="1158 745 1495 842">278,319</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 842 699 938">人件費・謝金</td> <td data-bbox="699 842 1158 938">RA の和文の作成・添削、指導研究者の講義・指導・助言</td> <td data-bbox="1158 842 1495 938">128,550</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 938 699 1003">その他</td> <td data-bbox="699 938 1158 1003">英文校正</td> <td data-bbox="1158 938 1495 1003">78,169</td> </tr> </tbody> </table>	費 目	事 項 (主な使用事項を記載)	執行額 (円) (費目毎総額を記入)	物品費	図書、トナーカートリッジなど	14,962	旅費	輪島で聞き取り調査、東京で研究打ち合わせ、ウィーンで学会発表	278,319	人件費・謝金	RA の和文の作成・添削、指導研究者の講義・指導・助言	128,550	その他	英文校正	78,169		
費 目	事 項 (主な使用事項を記載)	執行額 (円) (費目毎総額を記入)																
物品費	図書、トナーカートリッジなど	14,962																
旅費	輪島で聞き取り調査、東京で研究打ち合わせ、ウィーンで学会発表	278,319																
人件費・謝金	RA の和文の作成・添削、指導研究者の講義・指導・助言	128,550																
その他	英文校正	78,169																